

平成 25 年 2 月 22 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄  
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 執行役員 横山 幸弘  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

### ファイナンス事業子会社 Group Lease PCL.の 2012 年本決算発表について

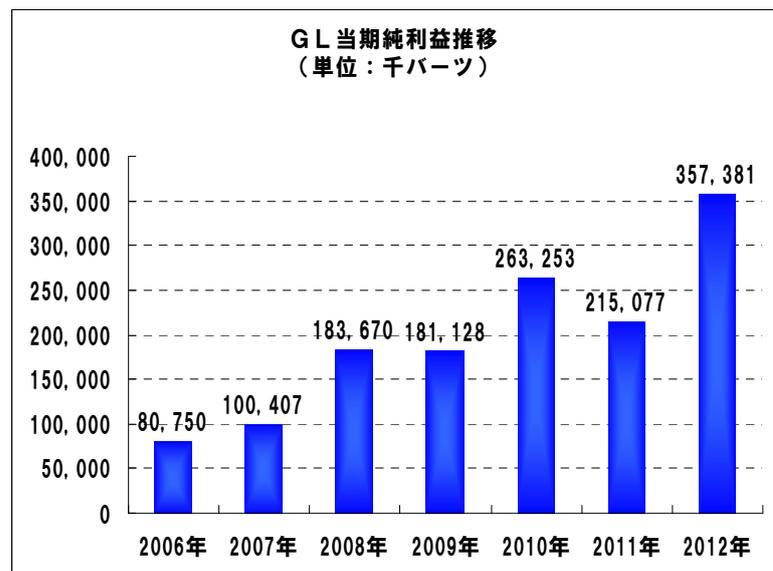
当社の連結子会社で東南アジアにおいてファイナンス事業を行います Group Lease PCL. (以下 G L) は 2013 年 2 月 22 日に前年 2012 年度(12 月期)の本決算の発表をいたしました。下記に発表内容と主要なトピックスについて解説させていただきます。株主及び投資家の皆様におかれましては引き続き当社グループの事業に関してご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 主要トピック 1 純利益 66%増で過去最高に
- 主要トピック 2 新規契約の飛躍的な拡大、営業資産が増加
- 主要トピック 3 良好な経済環境と回収率向上で不良債権が減少

#### 主要トピック 1 純利益 66%増で過去最高に

2012年決算において G L は純利益 3 億 5 千万パーツを超え、過去最高の純利益を達成いたしました。これは洪水の被害のあった 2011 年決算に対して 66%増、洪水のなかった 2010 年決算に対しても 35%増となり、同社の急成長を証明いたしました。四半期ベースで見ても第 3 四半期 (2012 年 7-9 月期、当社 2012 年度第 4 四半期)、第 4 四半期 (2012 年 10-12 月期、当社 2013 年度第 1 四半期)とも 1 億パーツを超える過去最高の四半期純利益を達成し、成長が加速しております。



特に下期においては毎月のようにオートバイローン新規契約数の過去最高を更新するなど契約数が急速に増加し、利益の源泉となる営業貸付金が増加したことによる売上高増に加え、金融費用比率の低下、貸し倒れの大幅な低下などにより、上記が達成されております。

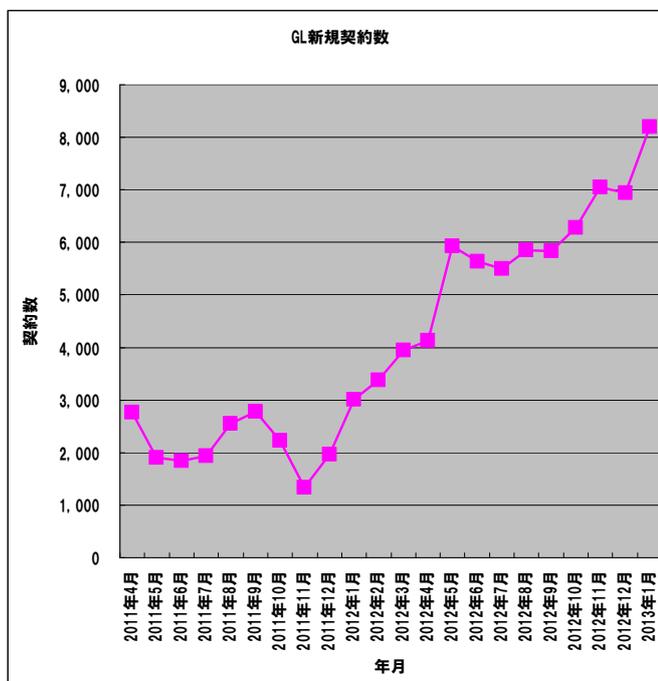
## 主要トピック 2 新規契約の飛躍的な拡大、営業資産が急増

2011年に刷新された新経営体制の下、営業体制が強化され、2012年にはその力が遺憾なく発揮されました。営業地域の拡大、従来地域におけるシェアの拡大を実現し、2011年末の洪水による影響からも完全に脱却、著しく業績が成長いたしました。

その結果2012年を通じて新規契約数が急速に増加、新規契約の総数で2012年は前年比で約205%の高い契約数を獲得することとなりました。なお、年後半になって加速しております契約数拡大は、2013年に入っても続いており、1月にはさらに過去最高の8,000台超を達成しております。

なお、これらの成長により、契約数に応じて蓄積される営業資産である営業貸付金総額は、2011年末の約19億パーツから2012

年末では約31億パーツへと前年比で約63%増の資産成長を達成しました。G Lの収益はこの営業貸付金に対する利息収入が基幹となっております。増加した営業貸付金は、各契約期間に応じ、今後、平均約3年の長期間にわたりG Lの収益に貢献する資産となりますので、今後の収益成長の基盤を形成できたと考えております。



## 主要トピック 3 良好な経済環境と回収率向上で不良債権が減少

### 3ヶ月以上滞留した債権比率

2011年	2012年
12.36%	5.45%

洪水により債権回収に一部影響のあった2011年に比べ、良好な経済環境に恵まれた2012年は不良債権の比率が大幅に低下いたしました。2011年に行われた営業体制の刷新も従来よりもさらに質の良い債権の獲得や回収に寄与いたしました。

この結果、回収が遅延した割合に応じて予め計上している貸倒引当金についても、顧客の返済状況が良好であることなどを反映して大幅に低下しております。積極的な営業拡大にもかかわらず債権の質が高まったことで、G Lは高い競争力と業務品質を維持しながら成長を実現いたしました。

### ※ご参考 円安による海外収益への好影響について

- 上記のG Lの決算は現地通貨であるタイバツ建てで計算されており、当四半期は、海外事

業の主要通貨であるタイバーツに対しても円安が進行、ファイナンス事業を中心とした海外の売上高は約9%拡大する影響を受けました。

- 平成25年9月期業績予想時点での当社の想定タイバーツレートは1パーツ2.5円となっておりますが、平成25年2月22日現在では、さらに1パーツ3.14円と円安が進行しております。
- 今後平均で1パーツあたり0.1円の円安となった場合、営業利益において約5千万円の増益効果が見込まれております。
- 継続的な利益の蓄積と、2011年に行われました新株予約権の行使により、金融費用比率が低下しており、このことも収益を押し上げております。
- 一株利益は昨年の3.65パーツから、本年の5.13パーツへと急上昇しております。

●2012年12月期 GL経営成績 (単位 千タイバーツ)

GL業績	2011年	2012年	前年同期比
売上高	891,261	957,663	107.5%
営業利益	342,355	459,782	134.3%
当期純利益	215,077	357,381	166.2%
1株当たり 当期純利益	3.65	5.13	140.5%

- ※ 2012年12月期のGLの決算はシンガポール共和国に設立したGL Holdings PTE. を含む連結決算となっております。
- ※ 当社の平成25年9月期第1四半期決算短信でも記載のとおりGLが平成24年8月25日に締結したGL Finance PLC. の株式取得契約（予定取得価格1,120千USD）については、カンボジア王国当局の認可待ちとなっており、当第1四半期連結累計期間においてはGL Finance PLC. を連結の範囲には含めておりません。
- ※ タイ王国においては、年度末決算に限り45日以内ではなく、期末から60日以内の開示が求められており、GLは本日当該決算を発表したものです。

以 上